

中小企業景況調査報告書

2019年4～6月期実績

2019年7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2019年4～6月期の実績(6月見込)2019年7～9月期見通し

②調査期間：2019年5月24日～6月1日 ※調査時点は2019年6月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別町、枝幸町、安平町、更別村

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、幕別町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	49	96.1%	小売業	89	81	91.0%
建設業	50	46	92.0%	サービス業	110	104	94.5%
				合計	300	280	93.3%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	今期	来期見込
製造業	4.1	▲ 17.8	4.5	0.0	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 16.7
建設業	2.2	2.2	▲ 7.9	▲ 2.5	0.0	▲ 11.9	13.6	0.0
小売業	▲ 29.1	▲ 28.2	▲ 27.3	▲ 26.9	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 26.4
サービス業	▲ 31.3	▲ 31.6	▲ 27.6	▲ 25.5	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 27.5

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 7-9	H30. 10-12	H31. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	16.3	4.4	12.8	11.6	15.0	9.3	8.3
	不 変	71.5	73.4	74.4	69.8	50.0	74.4	66.7
	悪化した	12.2	22.2	12.8	18.6	35.0	16.3	25.0
	D・I	4.1	▲ 17.8	0.0	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 16.7
売上(加工)額	増加した	28.6	12.8	29.5	31.1	14.0	46.8	
	不 変	42.8	63.8	47.8	33.3	20.9	36.2	
	減少した	28.6	23.4	22.7	35.6	65.1	17.0	
	D・I	0.0	▲ 10.6	6.8	▲ 4.5	▲ 51.1	29.8	
資金繰り	好転した	8.3	6.4	4.5	8.9	7.5	8.5	
	不 変	89.6	87.2	86.4	75.5	77.5	89.4	
	悪化した	2.1	6.4	9.1	15.6	15.0	2.1	
	D・I	6.2	0.0	▲ 4.6	▲ 6.7	▲ 7.5	6.4	
原材料仕入単価	上昇した	54.2	38.3					
	不 変	45.8	59.6					
	低下した	0.0	2.1					
	D・I	54.2	36.2					
採算(経常利益)	好転した	16.3	6.3					
	不 変	63.3	77.0					
	悪化した	20.4	16.7					
	D・I	▲ 4.1	▲ 10.4					

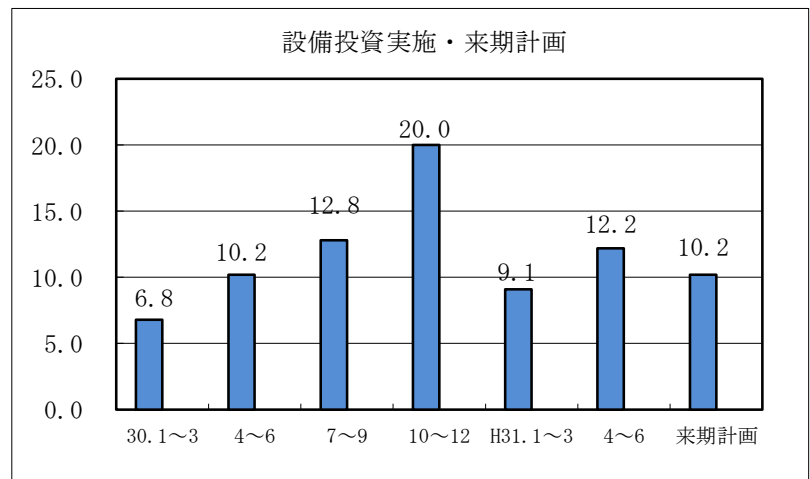
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答49事業所の内、6事業所(12.2%)が実施。●工事建物、生産設備、OA機器=各2事業所、●土地、車両運搬具、福利厚生施設=各1事業所

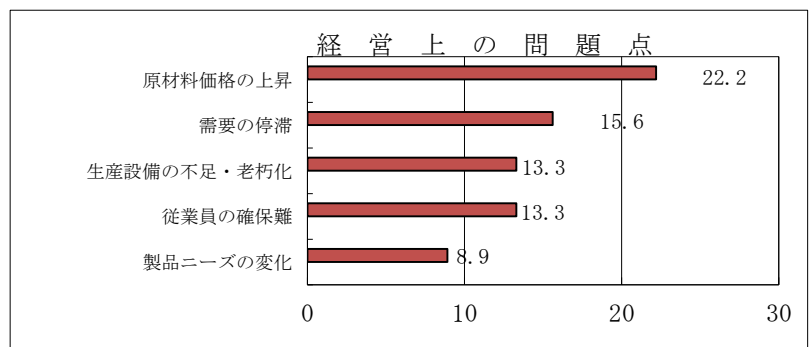
【来期計画内容】

回答49事業所の内、来期に5事業所(10.2%)が計画。●工事建物、生産設備=各3事業所、●付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回1位「原材料価格の上昇」は前回2位6.8ポイント増加し、今回2位「需要の停滞」は前回3位0.2ポイント増加した。今回3位「生産設備の不足・老朽化」は前回4位0.5ポイント増加、4位「従業員の確保難」については前回1位20.5%より7.2ポイント減少した。「原材料の不足」は今回4.4%で番外となっており、代わりに「製品ニーズの変化」が8.9%で5位となっている。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 7-9	H30. 10-12	H31. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	19.6	13.3	15.0	11.9	4.8	25.0	15.9
	不変	63.0	75.6	67.5	76.2	78.5	63.6	68.2
	悪化した	17.4	11.1	17.5	11.9	16.7	11.4	15.9
	D・I	2.2	2.2	▲ 2.5	0.0	▲ 11.9	13.6	0.0
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	28.9	15.2	40.0	24.4	18.6	37.7	
	不変	44.4	60.9	40.0	51.2	37.2	35.6	
	減少した	26.7	23.9	20.0	24.4	44.2	26.7	
	D・I	2.2	▲ 8.7	20.0	0.0	▲ 25.6	11.0	
資金繰り	好転した	15.9	6.7	5.0	7.5	2.4	15.9	
	不変	72.7	82.2	92.5	87.5	88.1	75.0	
	悪化した	11.4	11.1	2.5	5.0	9.5	9.1	
	D・I	4.5	▲ 4.4	2.5	2.5	▲ 7.1	6.8	
材 料 仕入単価	上昇した	57.8	45.5					
	不変	42.2	54.5					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	57.8	45.5					
採算(経 常利益)	好転した	13.0	8.7					
	不変	63.1	71.7					
	悪化した	23.9	19.6					
	D・I	▲ 10.9	▲ 10.9					

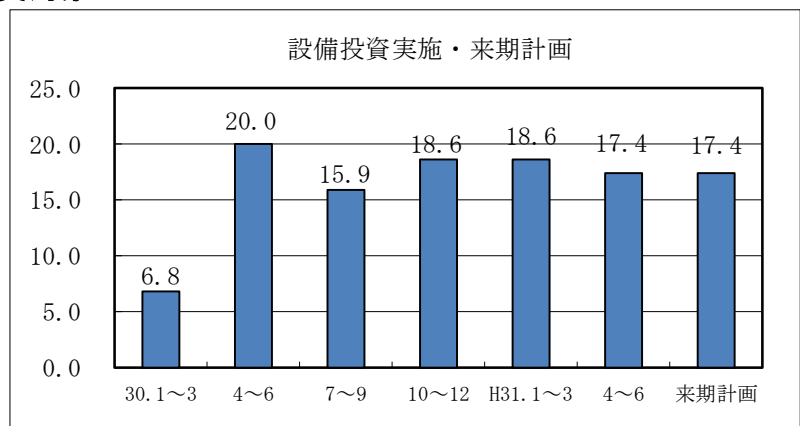
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答46事業所の内、8事業所(17.4%)が実施。●車両・運搬具=3事業所、●建設機械、OA機器、その他=各2事業所、●付帯施設=1事業所

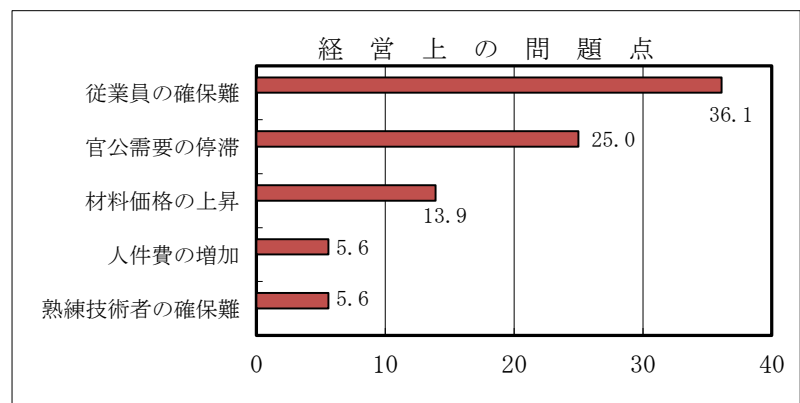
【来期計画内容】

回答46事業所の内、来期は8事業所(17.4%)が計画。●建設機械、車両・運搬具、OA機器、その他=各2事業所、●土地、建物=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回の1位~4位は前回と同じ問題点であった。1位の「従業員の確保難」は1.8ポイント増加。2位の「官公需要の停滞」は10.7ポイントの増加。3位の「材料価格の上昇」は5.3ポイント増加。4位の「人件費の増加」については0.1ポイントの減少であった。5位は前回番外であった「熟練技術者の確保難」で2.7ポイント増加の5.6%であった。また、前回4位の「民間需要の停滞」は0%で番外となった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 7-9	H30. 10-12	H31. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	8.9	5.1	3.0	4.7	1.7	9.7	3.9
	不 変	53.1	61.6	67.1	56.2	58.6	59.7	65.8
	悪化した	38.0	33.3	29.9	39.1	39.7	30.6	30.3
	D・I	▲ 29.1	▲ 28.2	▲ 26.9	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 26.4
売上額	増加した	17.5	10.1	23.7	27.8	15.7	26.0	
	不 変	31.3	40.5	38.1	29.2	38.6	44.1	
	減少した	51.2	49.4	38.2	43.0	45.7	29.9	
	D・I	▲ 33.7	▲ 39.3	▲ 14.5	▲ 15.2	▲ 30.0	▲ 3.9	
資金繰り	好転した	1.2	2.5	2.7	1.4	1.4	2.6	
	不 変	72.9	71.6	74.3	74.7	71.1	79.0	
	悪化した	25.9	25.9	23.0	23.9	27.5	18.4	
	D・I	▲ 24.7	▲ 23.4	▲ 20.3	▲ 22.5	▲ 26.1	▲ 15.8	
商 品 仕入単価	上昇した	30.9	21.0					
	不 変	61.7	70.4					
	低下した	7.4	8.6					
	D・I	23.5	12.4					
採算(経 常利益)	好転した	1.3	1.3					
	不 変	67.4	73.7					
	悪化した	31.3	25.0					
	D・I	▲ 30.0	▲ 23.7					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

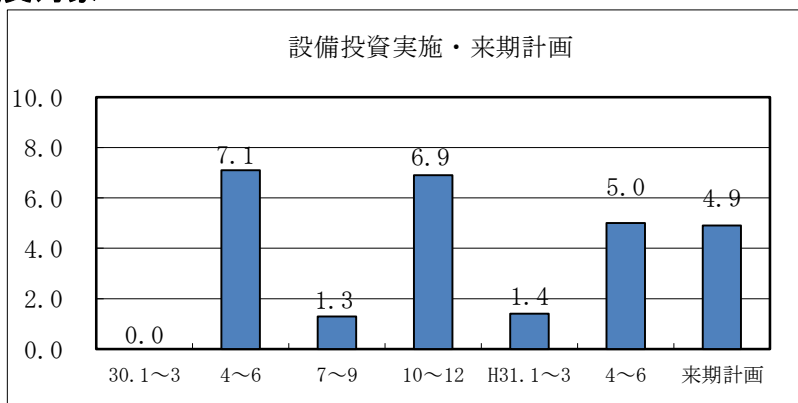
回答80事業所の内、4事業所(5.0%)が計画。

●車両・運搬具=3事業所、●その他=1事業所

【来期計画内容】

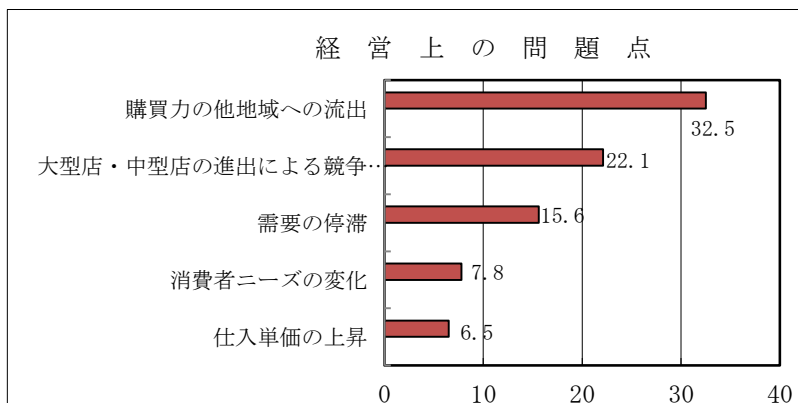
回答81事業所の内、来期は4事業所(4.9%)が計画。

●店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回1位は前回と同じく「購買力の他地域への流出」で0.6ポイント増加の32.5%。2位と3位は前回と入れ替わり「大型店・中型店の進出による競争の激化」は前回3位11.6%より10.5ポイント増加、「需要の停滞」は前回2位4.7ポイント減少した。4位は前回と変わらず「消費者ニーズの変化」で前回より0.6ポイント増加の7.8%、5位は「仕入単価の上昇」6.5%で前回より2.2ポイント減少となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 7-9	H30. 10-12	H31. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	7.1	4.1	3.2	2.2	4.7	3.2	8.8
	不 変	54.5	60.2	68.1	62.2	61.2	60.6	54.9
	悪化した	38.4	35.7	28.7	35.6	34.1	36.2	36.3
	D・I	▲ 31.3	▲ 31.6	▲ 25.5	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 27.5
売上(収入)額	増加した	14.4	8.8	22.0	12.2	14.1	21.2	
	不 変	42.3	49.0	41.0	40.8	40.2	41.3	
	減少した	43.3	42.2	37.0	47.0	45.7	37.5	
	D・I	▲ 28.9	▲ 33.4	▲ 15.0	▲ 34.8	▲ 31.6	▲ 16.3	
資金繰り	好転した	3.0	1.0	3.1	2.1	2.2	3.0	
	不 変	74.2	78.0	77.1	72.9	78.0	75.0	
	悪化した	22.8	21.0	19.8	25.0	19.8	22.0	
	D・I	▲ 19.8	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 22.9	▲ 17.6	▲ 19.0	
仕入単価(材料等)	上昇した	37.6	30.6					
	不 変	57.4	61.2					
	低下した	5.0	8.2					
	D・I	32.6	22.4					
採算(経常利益)	好転した	4.0	1.0					
	不 変	60.6	64.7					
	悪化した	35.4	34.3					
	D・I	▲ 31.4	▲ 33.3					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

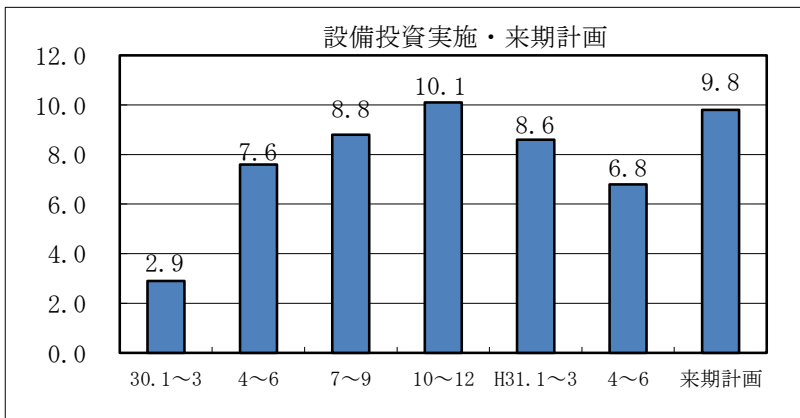
回答103事業所の内、7事業所(6.8%)が実施。

- 建物、車両・運搬具=各3事業所、
- 付帯施設=2事業所、
- OA機器=1事業所

【来期計画内容】

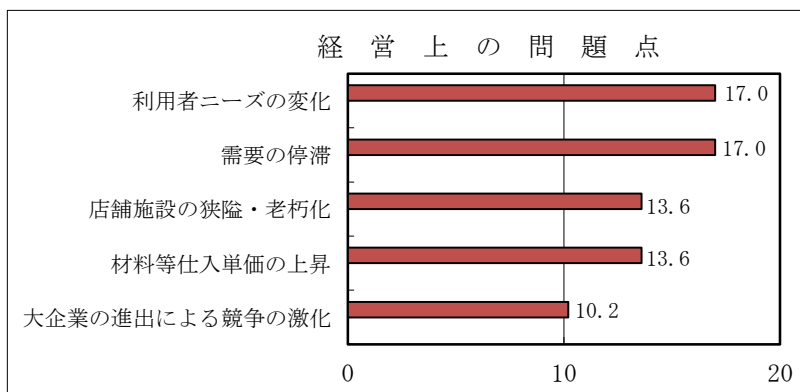
回答102事業所の内、10事業所(9.8%)が計画。

- サービス=6事業所、●付帯施設=4事業所、●建物、車両・運搬具=各2事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回1位「利用者ニーズの変化」は前回2位10.6%より6.4ポイント増加、2位「需要の停滞」は前回1位22.4%より5.4ポイント減少した。3位「店舗施設の狭隘・老朽化」は前回11.8%より1.8ポイント増加している。4位「材料仕入単価の上昇」は前回14.1%より0.5ポイント減少、5位「大企業の進出による競争の激化」は前回4.7%から5.5ポイント増加している。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

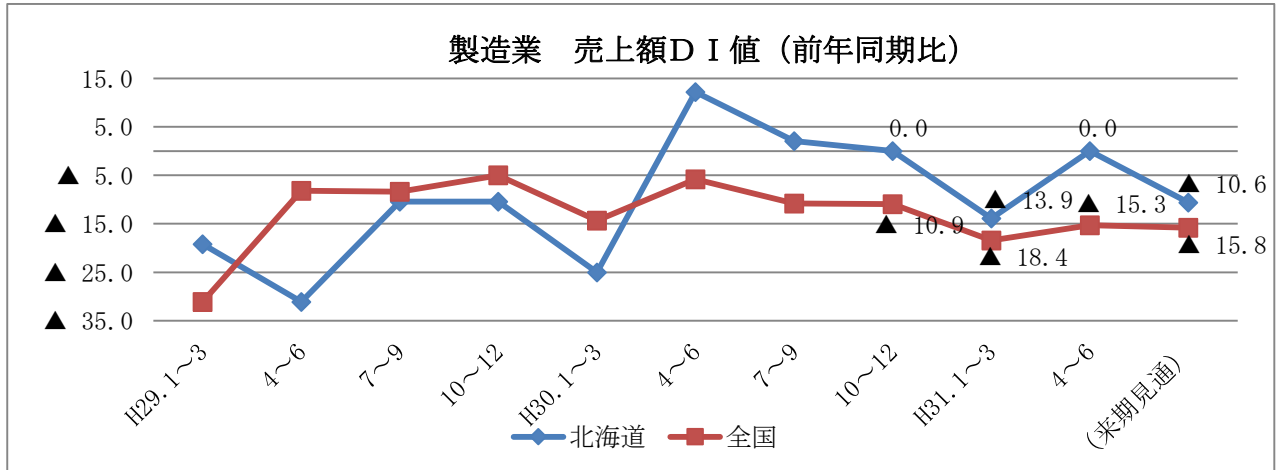
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

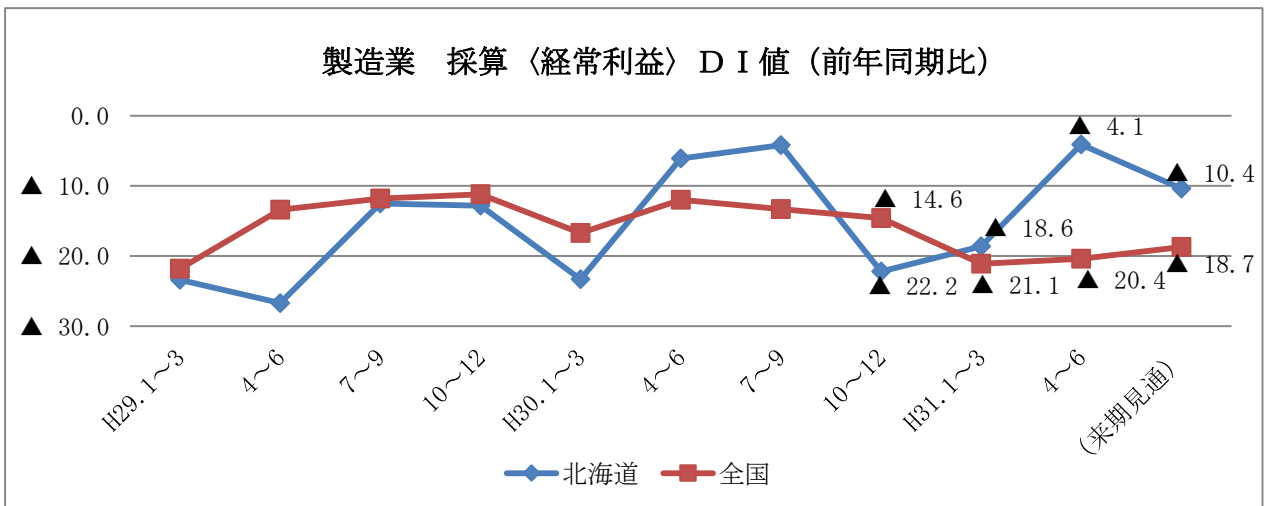
【北海道】(今期)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…増加
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…横ばい

【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

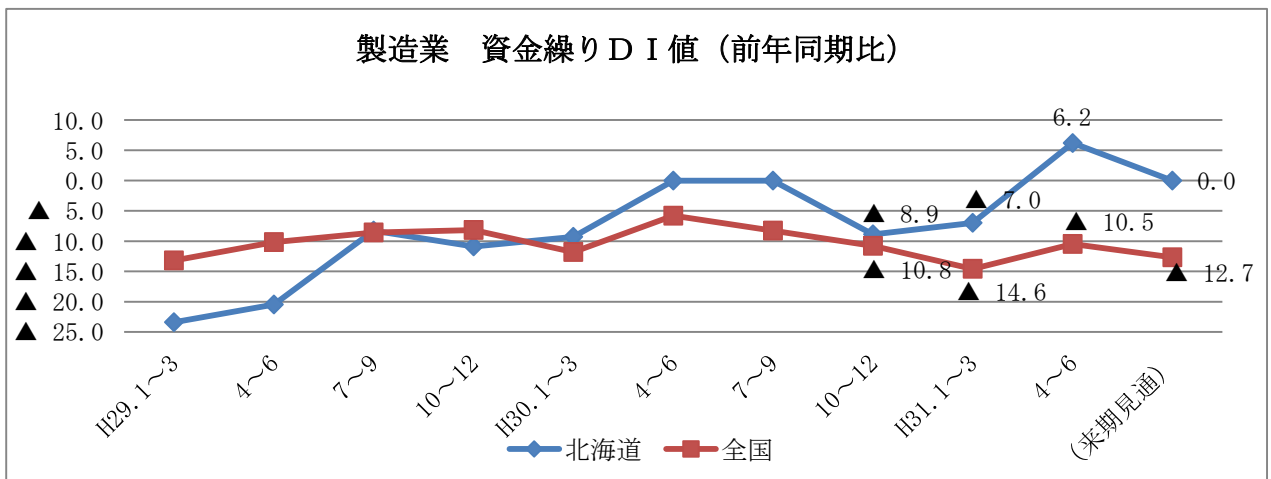
売上額



採算



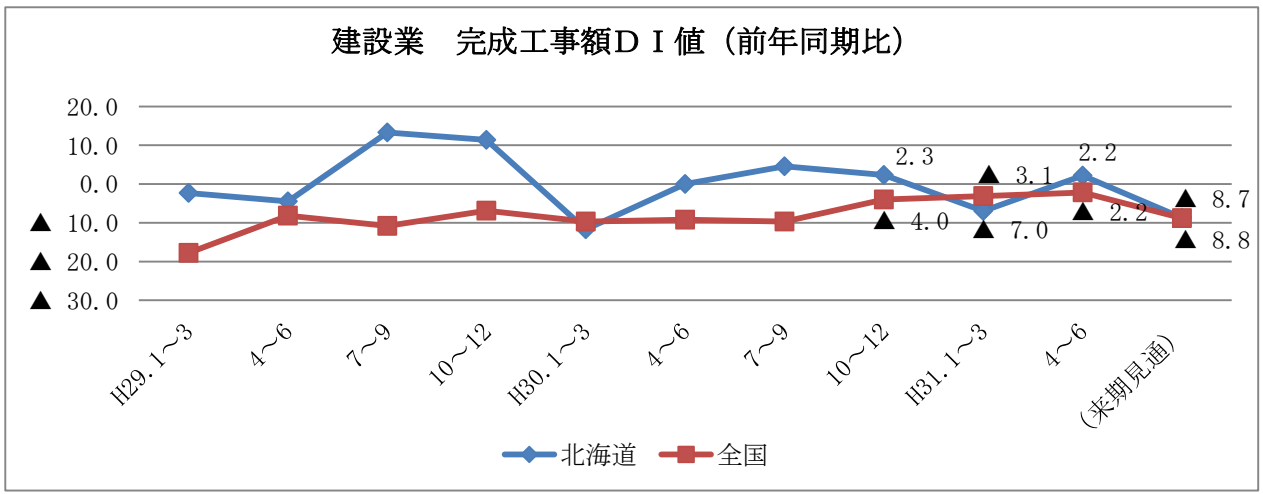
資金繰り



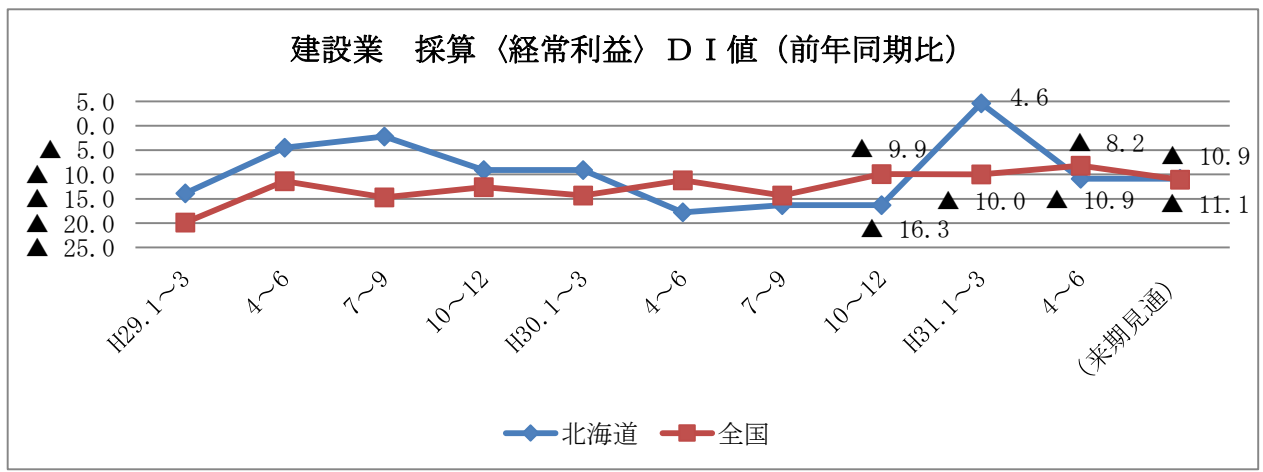
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

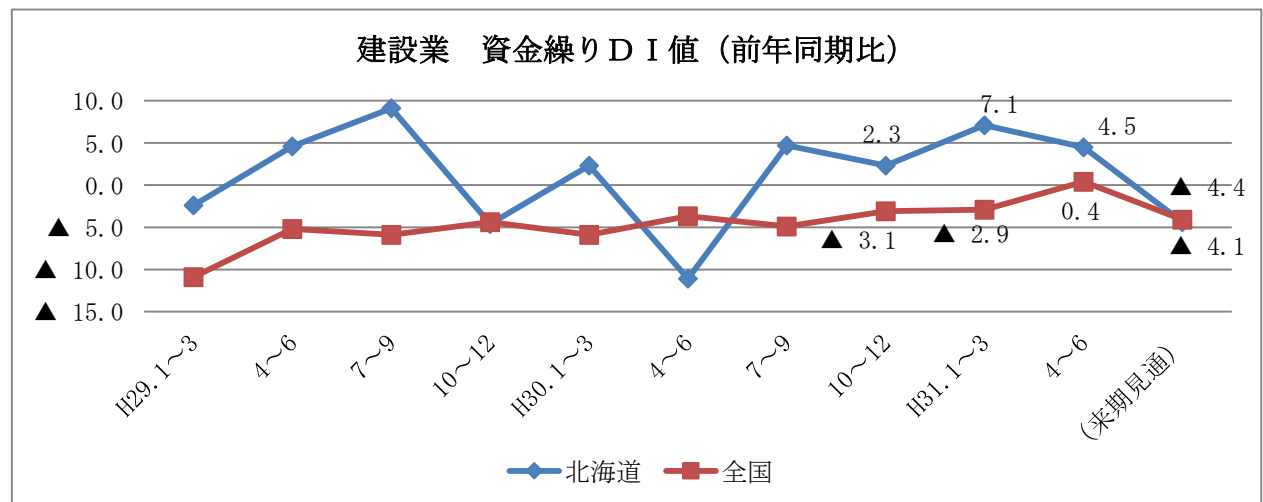
完成工事額



採算



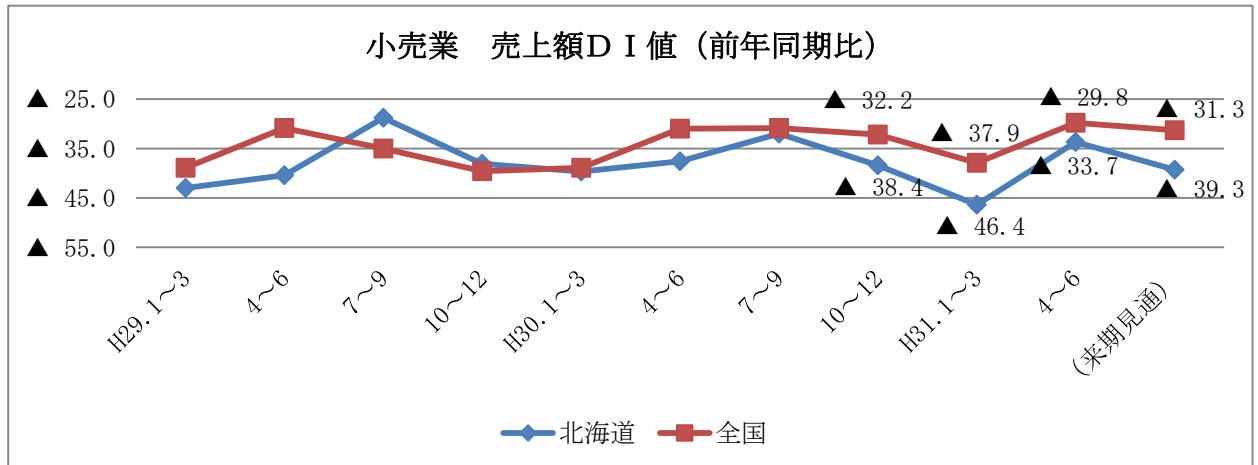
資金繰り



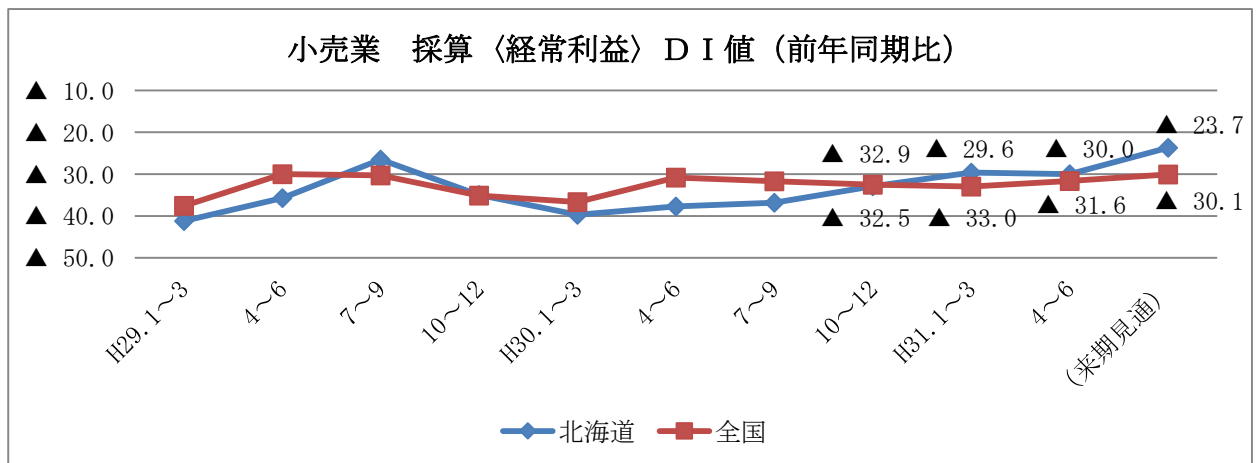
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全 国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

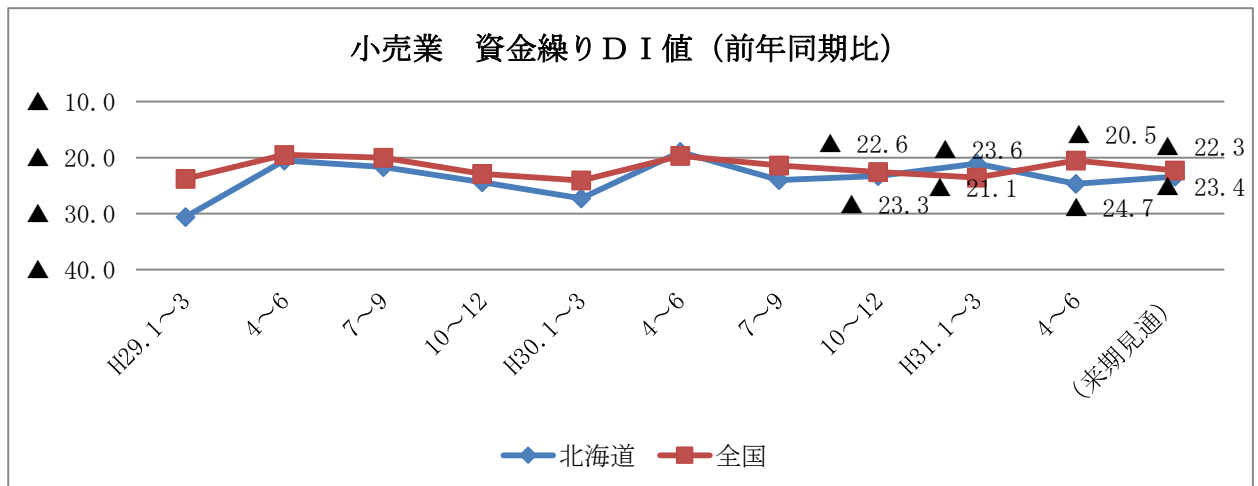
売上額



採算



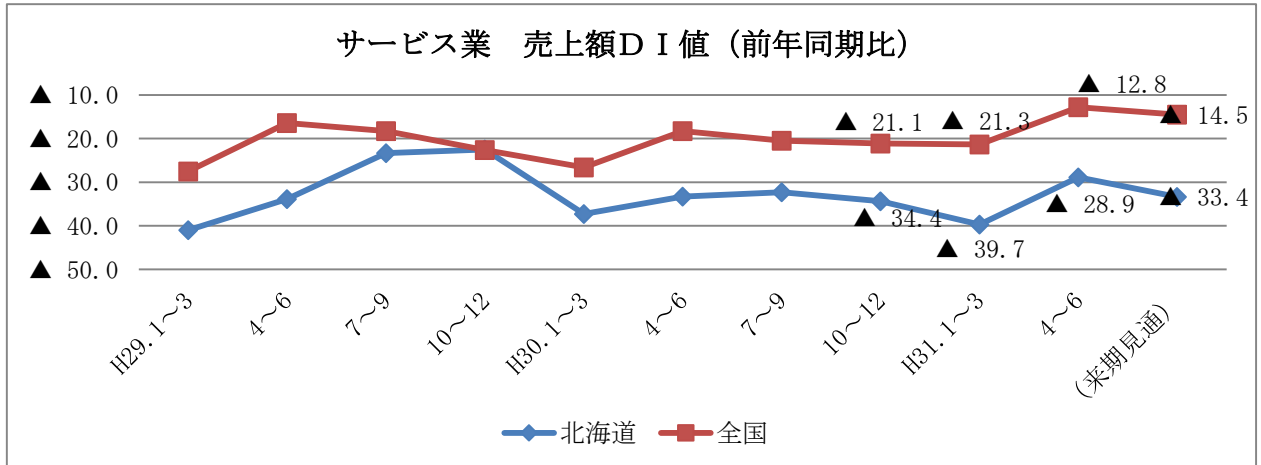
資金繰り



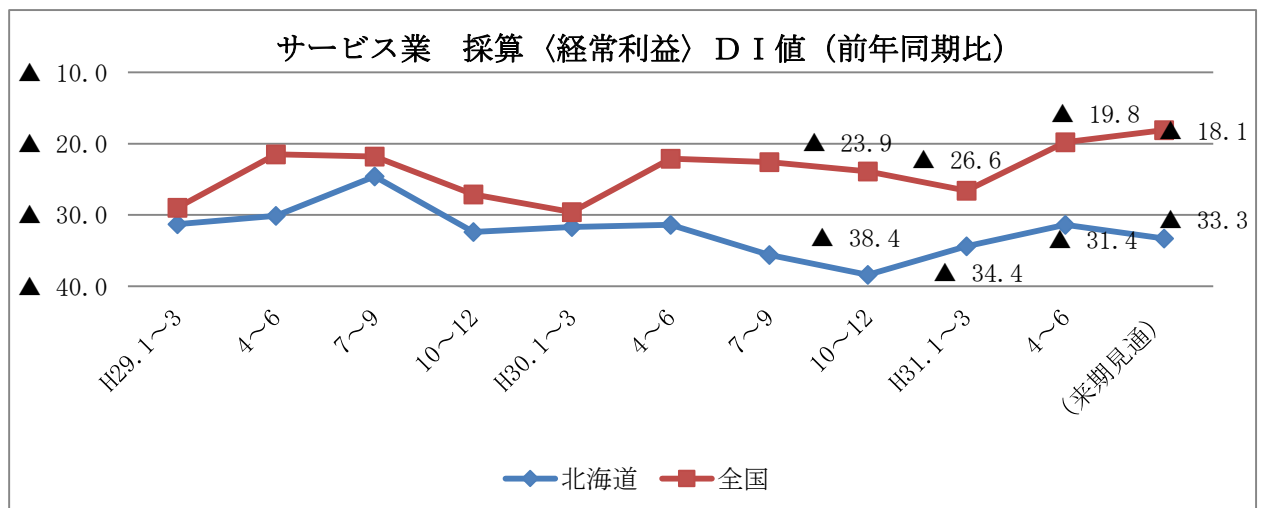
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

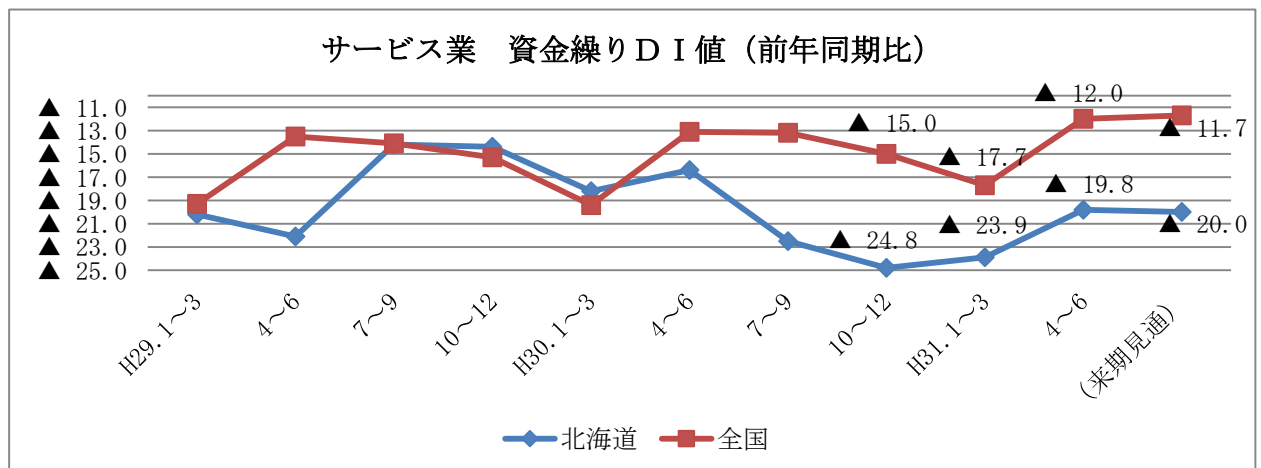
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●引き合いは活発なのですが古い設備ばかりで足りないと思います。機械自体高い商品ですから相当もうからないと無理だと思います。できるだけ頑張ってやっていきたいと思います。●代表交代して約半年がたった。経営状況は依然として苦しいが、仕事効率を優先して作業している。売上は、得意先自体も苦しい状況なので、受注が安定していない。今後も見直しできる部分を考えながら進めていく。●客単価が少しであるが上昇している。今秋の消費税の増税が不安材料。●これからも市場縮小が続き、筋肉質の経営及び生活者の為に役立つ商品づくりを心掛ける必要があります。●後継者がいなく、年齢的に数年で廃業を考えており、人気商品があるので、廃業するのはもったいない気持ちである。●依然として原材料の価格の上昇、従業員・技術者の確保が問題であると考えております。●羅臼港で、原魚の水揚げが減少して、工場の稼働が心配される。</p>
建設業	<p>●工事量の増加に伴い、下請業者の確保難が現実的に起きて、工事量の消化が出来ない状況になりつつある。●新卒求人を出してもなかなかこないで困っている。中途求人も同様。●10月の消費税増税による受注増となっている。●昨年9月の厚真町の復旧工事が多い為に受注して直ぐに入れる現場は無く、相変わらず作業員の一定期間の離職状態を抜本的解決に向かう事が出来ずにいる現状である。</p>
小売業	<p>●顧客の状況の変化に左右される部分が多いが、当面は落ち着いている状況と思われる為。●低単価で安定している。●4～5月の10連休、気候の変動、お得意様の変化(要介護、先進施設への入居)等々で、街中静まり返っています。おまけに、選挙もあって、ジンス通り不況に拍車がかかっているのは私共の店だけなのでしょうか?●4・5月、休日が多いことで売上減少しています。●駐車場ほしいです。●立地条件が良いのか、平日の来店者数が多くなった。TV出演効果もあり、固定客以外のお客様が増加した。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">サービス業</p>	<p>●事業関係の固定客の増加。●七飯町の食べる所が少なくなり、やたら昼だけ店が混み大変苦労している。●年齢による、仕事の量の低下を感じる。無理をしないようにセーブしながら、営業を行っている。●事業主とお客様の高齢化。地域の過疎化。●農繁期と重なり低下している。それに合わさってお客様の美容に対する需要が低くなってるように思う。カラーはホームカラーですの方が安いし、パーマはかけなくてもという考えが定着している。●新規参入や大手葬祭業社が進出するなど、個客数は今後減少していく中で、利用料金の低下や売上減収などが懸念される。●3月は病気で入院していた。●業務内容は変化していないのだが、仕事量が増加しているように感じるので従業員確保へとはたらきかけなければならない。●需要はあるものの、自社における経営方針による売上減少が続いている。今後の経営のあり方について、早急に判断が必要と思っている。熟練の調理師等の確保や、営業形態の変更も視野に入れていかなければならない。●業界として伸びる業界ではなく、人材不足と単価の安さが懸念される。●テレビやインターネットの情報効果で来店客が増加している傾向にある。適切な接客対応により固定客増を図りたい。●日中の客数が増え、新規顧客に繋がっている。その理由として店頭前のイーゼルパネルの宣伝効果や常連客の口コミ効果であり、来期も客数を維持したい。●例年であれば、前期より売上が伸びるところが、横ばいなのは、そうとう悪いと思っています。●悪いながらも安定している。一番心配しているのは、消費税増税後の消費者の動きである。●理容業全体に若者の美容への流出、年代の高い人は、どんどん減少して行くのと、低料金での同業者の進出等で先々がかなり不安材料となっています。●仕入単価の上昇を販売単価へ反映する事がスムーズに行っていない事と仕入れの見直しが必要と考えている。●町の崩壊点に近づいた感が強い。</p>
--	--